

平成29年度 基本方針

鹿児島県弓道連盟

○ はじめに

昨年度は当初計画した審査会・競技及び講習会等は滞りなく終了することができた。また、本県弓道振興を目的に取り組んだ県ジュニア普及事業 中・高一貫強化対策事業も多大な成果を上げて終了した。

岩手国体には成年男子・女子、少年男子・女子の4種別すべてに出場し、成年男子が近的4位、遠的6位、成年女子が近的3位、少年男子が遠的優勝、近的3位、少年女子が近的7位に入賞し、男女総合（天皇杯）2位、女子総合（皇后杯）8位の成績を修めた。

本年度は、全日本弓道連盟が公益財団法人に移行して6年目を迎え、全弓連が唱える「改革大綱」をもとに、本連盟としても、公益性、公平性、透明性等への具現化を図る。また、安全管理・事故防止対策や弓道指導における暴力根絶に向けての取り組みを充実する。

さらに、3年後に迫った鹿児島国体に向けては、選手の発掘、競技力向上ならびに役員養成への取り組みが急務である。

こうした諸般の情勢を踏まえ、本年度は次の事項を重点におき事業を推進する。

○ 平成29年度の重点事項

- 1 公益財団法人制度化6年目にあたり全日本弓道連盟「改革大綱」に関する共通理解を深め、本連盟としても財政・組織・審査・競技等の具体的な対応に取り組む。
- 2 基本に徹する体配・射技射法の修練に心がけ、自らを高めることに専心する。その成果を確認する機会として審査会・各種競技会への参加を奨励する。
- 3 講習・研修体制を確立し、指導者の資質向上並びに会員の技術力向上を図る。また、
弓道教室等初心者を受け入れ体勢を充実し底辺の拡充に努める。
- 4 九州・全国規模弓道競技会・ブロック大会（長崎）及び国体（愛媛）等での上位入賞を目標に計画的な選手強化に取り組む。
- 5 3年後に開催される第75回鹿児島国体に向けて、中期的展望に立った競技力の向上を図るとともに競技運営体制を確立するため、先進地視察など役員の人材育成をはかる。
- 6 本連盟が主管となる次の事業には、関係機関との連携を緊密にして円滑な運営を図る。
[九州地区]学校弓道指導者育成講習会 教職員特別臨時中央審査 九州地区
連合審査。
- 7 県連の公式ホームページについては、さらなる情報発信の・即時性・利便性・広域化等を図るため、引き続き改善の検討を行う。
- 8 各地区の道場においては、会員相互の融和と親睦を図るとともに、切磋琢磨する弓道修練を奨励する。